

## ●入会式

**西堀 裕久**

にしほり ひろひさ

事業所：(株)三ツ矢

住 所：川口市西川口 6-7-31

T E L：048-255-2250

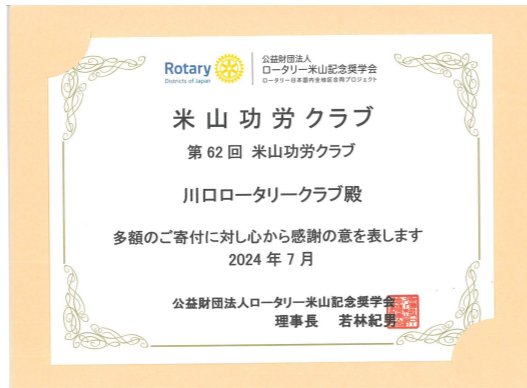
F A X：048-255-2368

役職名：取締役営業部長



## ●感謝状

米山記念奨学会より感謝状が届きました。



## ●Make-Up

越谷東RCの皆様と地区資金推進委員長の藤村作様(上尾RC)がお越し下さいました。



越谷東RCの皆様



地区資金推進委員長  
藤村作様(上尾RC)

## 今週の当番

SAA 香穂委員



出席委員 柳和弘委員長、渡部嘉夫委員



ニコニコ委員 橋山晶洋委員・米田和弘委員



## 出席報告

本日分	8月29日
会員数	95名
会場参加	55名
Make-Up	35名
出席率	94.74%

## 幹事報告 大竹純幹事

幹事報告をご覧ください。

- 9月19日の例会は、木曾路にて夜間例会になります。
- 9月5日18:30より国際奉仕委員会があります。
- 9月18日12:00よりSARLATにてパスト会長会があります。
- 9月12日10:30よりフレンディアにて地区大会実行委員会があります。

## 例会予定

◎9月12日 定例会

場 所/フレンディア

開 会/12:30~

卓話:

第2840地区パストガバナー

田中久夫様

◎9月19日 夜間例会

場 所/木曾路

開 会/18:00~

研修①

田中徳兵衛会員、仲川聡会員

## ●事務局

〒332-0012  
川口市本町1-18-5 NTTビル1F  
TEL 048-222-0124  
FAX 048-222-0118  
http://www.kawaguchi-rc.com  
E-mail krc2770@plum.plala.or.jp

Rotary

国際ロータリー第2770地区  
第11グループ

# 2024-2025 KAWAGUCHI ROTARY CLUB

## WeeklyReport

### ●第3112回 定例会

# No.06

2024年9月5日配布

2024-2025 年度  
会長: 請川 かおり  
幹事: 大竹 純



## 会長挨拶

会長 請川 かおり

こんにちは。会長挨拶をさせていただきます。

みなさん一般に「財団」という言葉はよく耳にしていると思いますが、それがどういうものかご存知ですか?私がかどもの頃の1970年代、一休さんというアニメがありました。一休さんでは必ず、坊主頭のおじいさんが、一日一善、とか、人類みな兄弟、って叫ぶCMが流れましたが、最後の「日本船舶振興会」という文字とアナウンスが印象的で、その日本船舶振興会とは一体何なのか、子どもの頃は不思議に思っていました。その日本船舶振興会は1990年代に入って、日本財団と名前を変えたのをご存じでしょうか?皆さんも日本財団のマークの付いた福祉車両をよく見かけるかと思いますが、日本財団があの一休さんの日本船舶振興会、と謎が解けた時が、私的に人生で初めて「財団」というものに興味を持った瞬間かもしれません。ところで、「財団」とは何かに戻りますが、財団とは、特定の目的を有した財産の集合体のことを意味します。そしてその財産を元に、営利目的ではない活動をする組織のことを財団法人といいます。ロータリーでいうと、日本では、「公益財団法人ロータリー日本財団」という名称の財団が、寄付金を取り扱っています。理事長は京都RCの御年101歳、裏千家15代目家元の千玄室さんです。財団の法律上の扱いは国によって異なり、日本では、皆さんの寄付を日本の公益財団法人であるロータリー日本財団が扱うことで、税制上の優遇措置が受けられます。皆さんからの寄付はロータリー日本財団が全額、ロータリー財団へ取り次ぐ、という仕事をしているわけですが、じゃあ、その財団で仕事をしている人のお給料や事務経費なんかはどこから出てるかという、ロータリー財団は我々の寄付金を元手に投資をしており、その投資で得た利益でまかなっています。そして、我々の寄付金は、全額、奉仕活動のためだけに使われています。

みなさん、キャプテン・トム、って覚えていますか?コロナと戦う医療従事者への寄付金を集めるために、イギリスで、99歳のおじいさんが、100歳の誕生日までに25メートルの自宅の庭を歩行補助器を使いながら100往復する、というチャレンジをしました。彼は退役軍人だったのでキャプテン・トムと呼ばれていたのですが、そのひたむきに庭を歩む姿は人々の共感を呼び、なんと47億円以上の寄付金を集め、エリザベス女王からはナイトの爵位を与えられ、「サー・トム」にもなりました。結局、彼はその後100歳の時にコロナで亡くなりますが、その遺志を娘が継いで、キャプテン・トム財団を設立します。しかしこの娘さんは、財団の資金から自分へ多額の給料を支払ったり、私的にスパ施設を作ったりとやりたい放題で、本来、財団のお金とは、目的のため以外に使ってはならないわけですから、イギリスのみならず世界を一世風靡した美談は、今や醜聞となっているようです。

ちなみに、一休さんの日本財団は、ボートレースの売上金の一部を資金源として、途上国の支援や、障害者支援、災害時の支援などの活動を行っているようです。

どちらにしても、子どもの頃に慣れ親しんだ「一日一善」という言葉は、多くの日本人のボランティアの原体験であることは間違いのないでしょう。以上です。